

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	からあ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 5日 ～ 2025年 3月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 3月 5日 ～ 2025年 3月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	インスタやLINEを活用している	普段の活動の様子をわかりやすいように伝えたり、悩みを言い出しやすいように活用している。	事業所での様子を伝えるだけでなく、ご家庭での様子を保護者から文章や写真で共有しやすくする取り組みをより行っていきたい。
2	活動内容の充実	体操のプログラム、おでかけ、クッキング、STプログラムなどご自宅では難しい取り組みを専門的な職員が実施している。	継続、展開していき、今後、子ども達の発達に繋げていく。

3	活動スペースが広い。	思いつき体を動かす活動が十分できるスペースがある。	床にはクッション性のあるマットも敷いてあるため、安全性も増し、取り組める活動も充実させていく。
---	------------	---------------------------	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携、ご家族への研修が不十分である。	事業所職員によって、関係機関や保護者と連携を図ろうとする意識にバラつきがあった。	送迎時間などを利用し、必要な機関やご家族に必要な情報を提供できるようにする。
2	非常時の対応についてご家族、職員に十分周知できていなかった。	周知不足と実施報告が足りていなかった。	情報提供として、書面やメールで発信すると共に確認をしてもらえるように送迎時にも声をかけする。
3	地域との繋がりや活動がないと思われる。	周知不足。	子ども食堂できょうだい交流、保護者交流、なやみ相談など実施していたが周知できていなかった。情報を書面で配布したり、メールで発信する。